

2008. 5. 1

学生協ニュース

No.59

東 北 大 学
(学生生活協議会広報委員会)

川内北キャンパスサークル棟G-4 「川内寮問題を考える会」に対して 宮城県警による搜索が行われました

4月30日(水)午前7時2分から午前8時47分にかけて、川内北キャンパスサークル部室G-4(川内寮問題を考える会)が宮城県警による家宅搜索を受けました。これは、4月15日(火)に富山大学(富山市五福)で学外者が建造物侵入の疑いで逮捕されたことに関連し行われたものです。

今回搜索のあった「川内寮問題を考える会」は、大学に正規の学生団体として届が出されておらず、その活動内容などは不明ですが、平成18年以降本学のサークル棟が対象となった搜索6件のうち5回を数えています。

搜索については、裁判所が発行した正当な令状に基づき行われるものであり、本学として拒むことができるものではないこと、大学はこれまで大学及び学生双方の立会人を出し、適切に対応してきたことを、本ニュースでその都度お知らせしてきました。しかし、今回の搜索においても、これまで同様に、学生自治会や日就寮生、顔をタオルやサングラスで覆ったり、黒塗りのヘルメットを着用した学生や他の国立大学生、既に本学の学籍を有しない者ら合わせて25名程度によるアジ演説、シュプレヒコール等が拡声器を使用し大音量で繰り返し行われました。アジ演説では、他大学生と学外者が中心になってあおり立て、自らの主義・主張を延々と繰り返し、近隣の迷惑を省みることなく、搜索に対する抗議のほか、学生の休学不許可、日就寮廃寮反対、立会人など大学の教職員に対する誹謗中傷などおよそ搜索と関連のないものが多く含まれていました。こうした行為に対し、近隣住民から早朝から騒がしく大変迷惑であるとの苦情が大学に寄せられています。安心、安全なキャンパス環境を阻害するだけでなく、地域住民の生活を脅かす行為に参加した学生その他の者に対し、大学として、大変遺憾であり、強く自省を求めるものです。

特に学生のみなさんは、特定の学外組織と学外者等に主に扇動されているこれら状況に関してくれぐれも御注意ください。